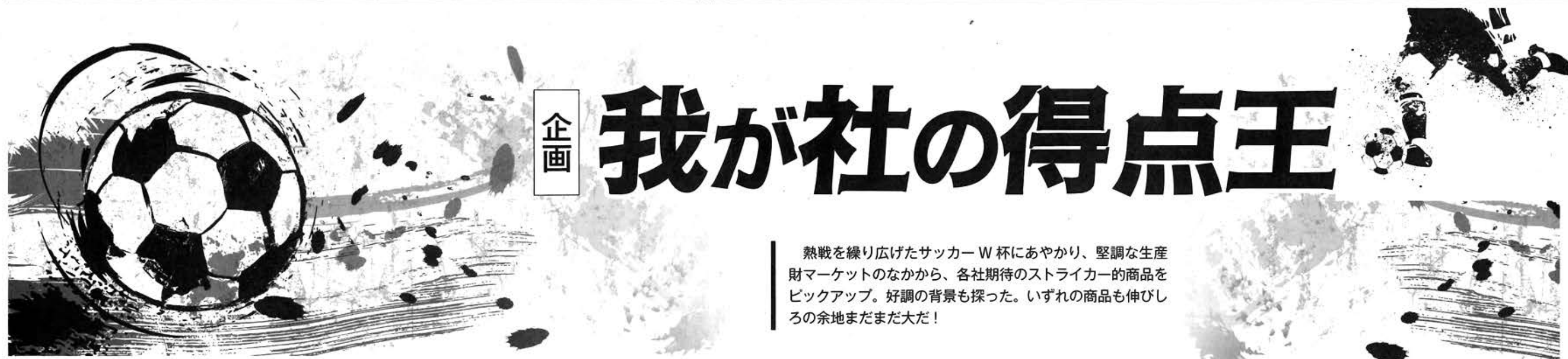




企画

我が社の得点王

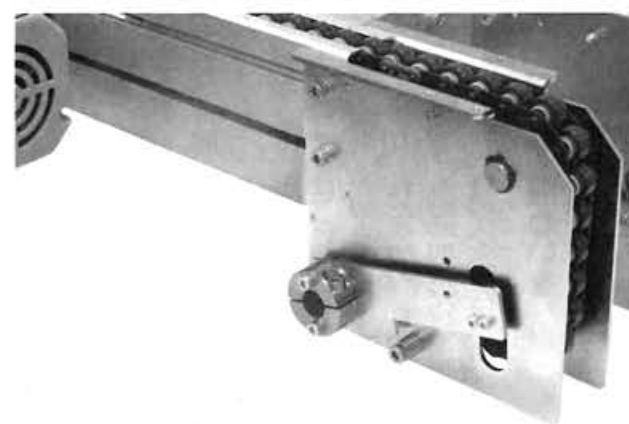
熱戦を繰り広げたサッカー W 杯にあやかり、堅調な生産財マーケットのなかから、各社期待のストライカーの商品をピックアップ。好調の背景も探った。いずれの商品も伸びしろの余地まだまだ大だ！

NKE

NKE は、高速性に優れ長年の実績がある自社「倍速チェーンコンベヤ」への搭載装置として、チェーンメンテナンスをほぼフリーにできる「オートテンション機構（特許取得）」を昨夏から標準販売している。対応機種は目下限られるが、好反応を得てオートテンション仕様コンベヤを増やす考えだ。

同機構はコンベヤを動かすチェーンの「最適張力」を、重り（フリー）などを利用し自動で長期維持するもの。チェーンの緩みは自転車などでもよく起きるが、コンベヤではこの緩みが原因で噛み込みや巻き込みが起きることがあり、ユーザースайдでは月に 2、3 回ほど（使用条件による）、作業者が調整ネジを締めこむことで張力の調整を行っていた。「調整時にはラインを止める

独自機構でコンベヤのメンテナンスフリーを実現



独自の機構でチェーンの張力を長期維持

必要があるうえ、設置場所によっては調整が困難な例もあった」（同社）。これが同機構により年 1 回程度のチェックで済む。「私どものお客様が多い自動車や電池業界では数百台のコンベヤを工場に配置するケースもあり、こうした大工場だと調整による稼働停止や調整工数の削減により、特に大きな導入効果が見込める」という。同機構は数年前に開

発し特注品として提供していたが、昨夏、標準オプションに切り替えた。製品への組込みは後付けタイプもあり、今後は幅広い機種に横展開予定。顧客要望として「他社製の」手持ちのコンベヤにも付けて欲しい」の声も出ている。

同機構は地元（同社は京都本社）の京都府などが行う「京都中小企業技術顕彰」制度で昨年、優秀技術賞に選ばれた。

オートテンション機構、今後「横展開」へ